



カラー版は香月小学校ホームページをご覧ください

## 学校再開へ向けて「半自粛」を徹底しましょう！ ～ 「感染症」と「教育」の共存を目指して ～

政府は4日、新型コロナウイルス特別措置法に基づく対策本部会で、「緊急事態宣言」を全都道府県を対象としたまま5月31日まで延長することを発表しました。これまでの対策や国民の努力の甲斐あってオーバーシュートを免れ、新規感染者は全国的に減少傾向にあります。「自粛」により成果を上げていることは、日本人の素晴らしさですね。しかし、気を緩めると再び感染者が増えてしまいます。学校が再び臨時休業とならないためにも感染症防止対策は今後も徹底していかなければなりません。

政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、長丁場の対策に備えた「新しい生活様式」を提言しています。

### 【新しい生活様式】

[外出]	マスク着用。帰宅後石けんで丁寧に手洗い、シャワー。
[人との間隔]	できるだけ2メートル。
[移動]	会った人と場所を記録。
[生活]	毎朝検温。こまめに手洗い、換気。会話時は症状なくてもマスク。
[買い物]	少人数ですいた時間に素早く。展示品への接触は控えめに。
[スポーツ]	ジョギングは少人数で、距離をとってすれ違いを。
[公共交通機関]	会話は控え、混んだ時間は避ける。
[食事]	大皿、おしゃべり、多人数会食は避け、横並びで座る。
[働き方]	テレワーク、オンライン会議励行。対面での打合せは換気とマスク。



このところ、感染症と経済のことについての話題が多く取り沙汰されています。学校としましては、「**感染症と教育の共存**」が重要な視点と考えています。

京都大学の藤井聡教授が、この**長丁場**に備えた新しい生活習慣（スタイル）について提言しています。

自粛のレベルを下げ、ある程度の社会経済活動を復帰させる。何も考えずに復帰させたら感染が拡大する。再開した社会経済活動の際には、「**半自粛**」とともに、「自制」して「人に移さない、移されない」ことを徹底的に注意するとして、次の点を強調しています。

#### 1 飛沫感染を防ぐために

- ◎ 咳エチケットを徹底する。(マスク着用)
- ◎ 換気を徹底する。

#### 2 接触感染を防ぐために

- ◎ 手洗い・うがい・手指消毒を徹底する。
- ◎ 顔(目・鼻・口)を触らない。洗顔。

藤井教授の「半自粛」「半自制」の考えに加え、これまで大事にしてきた下記の3点の計5点について徹底することで、「長丁場」にあっても**無理なく**子供たちの命と健康を守ることができるのではないかと思います。

#### 3 持ち込みを防ぐために

- ◎ 県外への行き来をしないよう徹底する。
- ◎ 帰鹿後2週間は外出を控える。

#### 4 基本的な感染症対策を持続させるために

- ◎ 「密閉」「密集」「密接」の三密を回避する工夫を徹底する。

#### 5 家庭における健康管理をお願いします

- ◎ 毎朝の検温を継続する。(チェック票の記入)
- ◎ 熱のある状態で登校させないでください。・・・学校での**感染症拡大防止の重要ポイント**です

これからも終息へ向けて、学校・家庭・地域が協力して感染症拡大防止に取り組んでいきましょう。香月小学校では、本日現在、下記のように対策のための物資を確保しています。

- 1 全学級に体温計を1本ずつ。
- 2 マスクの備蓄 小 70枚, 大 460枚
- 3 手指消毒用アルコール 各学級1本 補充用 3リットル
- 4 身の回りの消毒用 次亜塩素酸電解水 10リットル

マスクがない場合は遠慮なく保健室でもらってください。小さいサイズのマスクが手に入りにくいので、できるだけ布マスクを使うようにしましょう。



